

3年保育 3歳児 さくら組

平成26年10月15日(水)
在籍 16名
担任 阿部 真秀

1 主な活動 『散歩に出かけよう』(保育室)

2 幼児の実態 (9月上旬)

- (体を動かすことへの取組：◎ 遊び：○ 人との関わり：● 生活：☆ 学級で取り組む活動：□)
- ◎● 戸外遊びでは、滑り台や巧技台、三輪車、教師や友達と一緒に追いかけてこや、「よーい、どん！」の掛け声に合わせて走ることを繰り返し楽しむ姿が見られる。
 - ◎ 乗り物や動物、ヒーローになりきって遊ぶことが楽しく、マントやお面などを身に付けたり、リズムや教師の掛け声に合わせてたりして、体を動かしている。
 - ◎● 室内遊びでは、教師や友達と一緒に衝立やウレタン積み木を使って場をつくり、ままごとや温泉ごっこをすることを喜んでいる。友達と同じ場や物で遊んだり、同じ動きをしたりすることで親しみをもって関わっている。
 - 製作遊びでは、のりやはさみを使ってポテトやぶどうを作り、お店屋さんになって、作ったもので遊ぶことを楽しんでいる。
 - 好きな友達と2、3人で遊ぶようになり、やり取りを楽しんでいる一方で、遊びの中でしたい遊びに入れなかったり、物を貸してもらえなかったりして、トラブルになる姿が見られてきた。
 - ☆ 所持品の始末や身支度など、やり方が分かり自分から取り組む幼児が増えてきた。中には、教師の手伝いが必要な幼児がいる。
 - ◎□ 学級のみんなどと一緒に、リズムやわらべうた遊びに喜んで参加している幼児が多い。中には、恥ずかしい気持ちから、少し離れた場から様子を見ている幼児もいる。

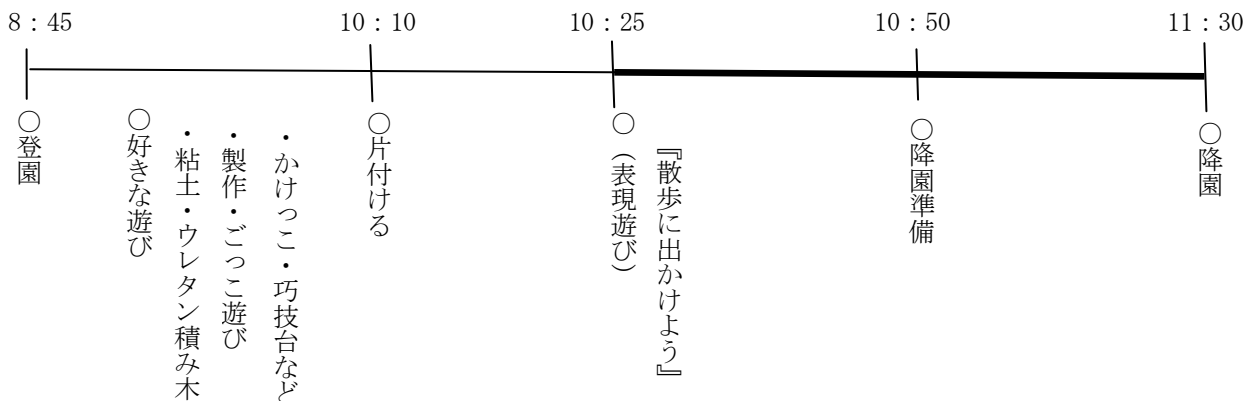
3 期のねらい (3歳児 IV期 10月中旬～12月下旬)

- 自分のしたいことをしたり、気に入った幼児や同じ場で遊ぶ友達と関わったりして遊びを楽しむ。
- 学級のみんなどで遊ぶ中で、自分なりの動きを楽しむ。
- 身支度や弁当の準備、片付けなど、身の回りの始末を自分でやろうとする気持ちをもつ。

4 週のねらい

- 教師や気に入った友達と一緒に遊ぶ楽しさを感じる。
- なりきって遊ぶ中で、自分なりの動きを楽しむ。
- 衣服の着脱を自分でやろうとする。

5 一日の流れ



6 本時のねらい

- 教師や友達と一緒に乗り物や動物などになって、体を動かすことを楽しむ。

7 期待される主な動き

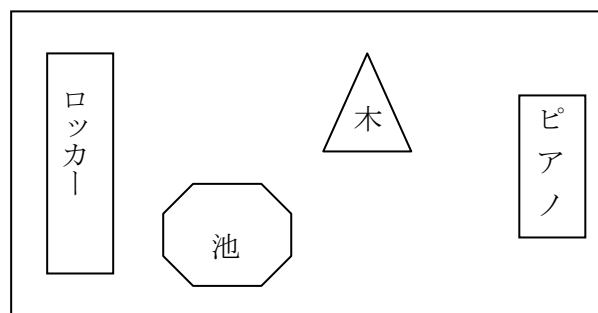
- ・ 跳ぶ ・ つま先立ちをする ・ 片足で立つ ・ 這う ・ 伸びる

8 研究主題との関連

【研究主題に迫るための工夫点・具体的手立て】

- ・ 乗り物や動物などのイラストや木、池といった視覚的な教材を用意する。…**イメージ**
- ・ 乗り物や動物になりきって遊ぶことを通して、歩く、跳ぶ、つま先立ちをする、這うなどの様々な動きを楽しみながら行えるようにする。…**イメージ**
- ・ それぞれの動きに合った音楽を流すことで、乗り物や動物などのイメージをもてるようにする。…**イメージ**
- ・ 好きな乗り物や動物になりきれ時間を保障する。…**自由性・選択性**
- ・ 遊びの中で、幼児一人一人の動きを認めたり、教師も一緒に動いたりして、自分の思いを出して体を動かす楽しさが感じられるように声をかけていく。…**目標**

<環境図（保育室）>



9 展開 保育室（10：25～10：50）

時間	幼児の活動	経験して欲しい内容	ねらい達成のための教師の援助
10:25	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教師の話聞く ○ 音楽に合わせて遊ぶ ① 散歩に出かける 車や飛行機など、乗り物になりきって動く ② 動物になりきって動く ・ チョウ ・ ウサギ ・ カエル ・ キリン ・ フラミンゴ ・ ワニ など 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教師の話聞き、これからの活動に期待をもつ ・ 音楽を聞きながら、乗り物や動物になって動く。 ・ 手を広げて、上下させる ・ 跳ぶ ・ しゃがんで跳ぶ ・ つま先立ちをする・伸びる ・ 片足で立つ ・ 這う など 	<ul style="list-style-type: none"> ・ これからの活動を楽しみにできるように話をする。 ・ 活動に対して戸惑っている幼児には、教師が寄り添ったりしながら安心して参加できるようにする。 ・ 個々の動きを認めて、声を掛けたりしながら、楽しい雰囲気の中で体を動かせるようにする。 *イメージをもって動きを楽しめる援助 ・ 乗り物や動物のイラストや、木や池を用意し、イメージをもちやすいようにする。 ・ 乗り物や動物のイメージに合った音楽を流すことで、幼児が動きを表現しやすいようなきっかけをつくる。 ・ 音楽に合わせて教師も一緒に動いたり、声を掛けたりして、楽しみながらのびのびと体を動かす楽しさを味わえるようにする。

<p>10:50</p> <p>11:30</p>	<p>③散歩から帰る 車や飛行機など、乗り物になりきって動く</p> <p>○集まる</p> <p>○降園準備</p> <p>○集まる</p> <p>・手遊び</p> <p>・歌</p> <p>・絵本</p> <p>○降園する</p> <p>など</p>	<p>・楽しかったことを振り返り、話をする</p> <p>・降園の身支度を自分でしようとする</p> <p>・集まりに喜んで参加する</p> <p>・明日の登園に期待をもつ</p> <p>・降園場所まで、移動する</p>	<p>*動きの自由さや選択性が保障された環境</p> <p>・幼児が、乗り物や動物になりきって動く姿を認めていくことで、「こんなふうに動いてみよう」など自分なりのイメージをもって自由に、意欲的に取り組めるようにする。</p> <p>*意欲がもてるような具体的な目標</p> <p>・教師も一緒に遊び、体を動かす心地よさや楽しさに共感し、言葉にして知らせていくことで、幼児が安心して自己表現できるようにする。</p> <p>・活動を振り返りながら、体を動かす楽しさや心地よさなど、個々の思いに共感していく。</p> <p>・自分で身支度をしようとする気持ちを認めたり、個々に応じて手伝ったりしていく。</p> <p>・明日の登園に期待がもてるよう話をする。</p> <p>・降園場所まで、安全に移動できるように声をかけていく。</p>
---------------------------	---	--	--

10 評価

○教師や友達と一緒に、乗り物や動物などになって体を動かすことを楽しんでいたか。